

審 査 設計者

令和 7 年度 水道実施設計書

工事番号
(設計書コード) 3 7 - F E 3 5 0 - 1 4 - 0 1 - 2 5

建設工事名 令和6年度（補） 泉町地内配水本管（西部幹線）布設替工事

路線河川名 建設工事箇所 藤枝市 泉町 地内

建設工事金額

工 期 令和 8 年 1 月 9 日限り 週休2日推進工事補正（月単位の週休2日（合計）

建設工事概要

施工延長	73.4	m
D I P（G X）径450	72.9	m
仕切弁設置工径450	1	基

歩掛・単価適用年度 令和 7 年 7 月 基本単価 令和 7 年 7 月 地区コード 2 2 0 地区

起 終 点 指 定

内訳表、施工単価表に記載されている機械の機種などは該当機種の使用を指定するものではなく設計上の参考である



位置図
S=1:10000

工事施工箇所

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費					
- 施工延長	m	73.4			コメント行
- DIP (GX) 径450	m	72.9			コメント行
- 仕切弁設置工径450	基	1			コメント行
- 補助	式	1			
-- 管材	式	1			
--- DIP (GX) φ450	式	1			
---- 鋳鉄管 GX形 DS (ゴム輪セット) φ450×6.0m (内面エポキシ粉体塗装) +直管用ゴム輪	本	12			
---- 短管1号 7.5K GX形 φ450	本	1			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 短管2号 7.5K GX形 φ450	本	1			
---- 接合部品 GX形(押輪、ゴム輪、T頭ボルト・ナット) φ450	本	1			
---- ライナー (粉体) GX形 φ450	個	5			
--- 仕切弁径450	式	1			
---- 仕切弁粉体FCD+F接合材2組 φ450SS7.5kgf/cm ² JWWA B-120	基	1			
---- 仕切弁筐 (テーパー蓋・受枠三点固定式) CVONS-20G-25LNU 鋳物中蓋タイプ・小型床版、塩ビ台座、VP管含む	基	1			
---- フランジサポート φ450	個	2			
-- 管布設工	式	1			
--- DIP (GX) φ450	式	1			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 管据付工 鋳鉄管 φ450mm 機 械, 良 好	m	72.9			第 1号表
---- 管継手工 鋳鉄管 φ450mm GX形継手 直管	口	12			第 2号表
---- 管継手工 鋳鉄管 φ450mm GX形継手 異形管	口	1			第 3号表
--- 仕切弁設置工	式	1			
---- 仕切弁設置工 φ450mm 機械 鋳鉄製仕切弁 縦型	基	1			フランジ接合は含まない 第 4号表
---- 仕切弁筐設置工	箇所	1			M0015 第 5号表
---- 管継手工 鋳鉄管 φ450mm フランジ継手 7.5K	口	2			第 9号表
--- 管表示・被覆工	式	1			
---- ポリエチレンスリーブ被覆工 φ450mm	m	72.9			第 10号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 埋設標識シート設置工	m	73.4			M0023 第 11号表
-- 土工	式	1			
--- 管路土工	式	1			
---- 舗装版切断	m	150			SP 1号表
---- 舗装版取壊し積込（バックホウ） 0cmを超え10cm以下 バックホウ 山積0.28m3（平積0.20m3）	m2	77			第 13号表
---- アスファルト塊運搬・処理（4t積ダンプトラック） セイエン商事（株）藤枝工場	m3	4			M0053 第 15号表
---- バックホウ掘削積込（土砂） バックホウ 山積0.28m3（平積0.20m3）	m3	130			第 18号表
---- ダンプトラック運搬・4t積（管路掘削工事） 仮置き場 バックホウ 山積0.28m3（平積0.20m3） D1D区間無し，L=0.1km，土砂	m3	130			第 19号表
---- 発生土運搬・処理（10t積ダンプトラック） 仮置き場から処分場まで	m3	130			M0054 第 20号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 砂基礎工（機械施工）					M0060
	m ³	40			第 23号表
---- 管路埋戻工（機械埋戻・バックホウ） バックホウ 山積0.28m ³ （平積0.20m ³ ） 路床材 再生盛土材					
	m ³	80			第 24号表
---- アルミ矢板建込・引抜工（両側分）0.20m ³ 級バックホウ 掘削深2.0m以下					M0229
	m	73.4			第 26号表
---- アルミ矢板 賃料 補助					M0057
	式	1			第 31号表
---- 支保工賃料 補助					M0059
	式	1			第 32号表
---- 軽量金属製支保設置撤去工 1段 2.0m以下 水圧式パイプサポート					
	m	73.4			第 33号表
---- 仮舗装（車道・路肩部） W=1.4m未満					
	m ²	77			SP 3号表
---- ポンプ据付・撤去工 φ50mm					
	現場	1			第 34号表
---- 潜水ポンプ運転 φ50mm 1台 作業時排水、発動発電機					
	日	1			第 35号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
--- 舗装工					
	式	1			
---- 舗装版切断					
	m	77			SP 1号表
---- アスファルトカッター汚泥運搬・処理 マーセリサイクル(株)麻機工場					M0224
	式	1			第 36号表
---- 舗装版取壊し積込(バックホウ) 0cmを超え10cm以下 バックホウ 山積0.28m3(平積0.20m3)					
	m2	134			第 13号表
---- アスファルト塊運搬・処理(4t積ダンプトラック) セイエン商事(株)藤枝工場					M0053
	m3	6			第 15号表
---- バックホウ掘削積込(土砂) バックホウ 山積0.28m3(平積0.20m3)					
	m3	20			第 18号表
---- ダンプトラック運搬・4t積(管路掘削工事) 仮置き場 バックホウ 山積0.28m3(平積0.20m3) D1D区間無し, L=0.1km, 土砂					
	m3	20			第 19号表
---- 発生土運搬・処理(10t積ダンプトラック) 仮置き場から処分場まで					M0054
	m3	20			第 20号表
---- 上層路盤工 仕上り厚さ=15cm 施工幅=1.8m未満 粒度調整砕石(M-30)					
	m2	121			第 39号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 不陸整正工 施工幅=1.8m未満 補足材：有り 平均厚さ30mm	m ²	13			第 41号表
---- 表層（車道・路肩部）	m ²	134			SP 4号表
-- 区画線工	式	1			
--- 区画線工	式	1			
---- 区画線設置〔溶融式手動〕 矢印・記号・文字 15cm換算 塗布厚1.5mm 黄 鉛・クロムフリー	m	23			第 42号表
-- 安全工	式	1			
--- 交通誘導警備員	式	1			
---- 交通誘導警備員	式	1			第 43号表
直接工事費計					

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
工種区分 No. 63 開削工事及び小口径推進工事等					
共通仮設費 (一般交通影響あり(2))	式	1			
運搬費 補助	式	1			M0230
技術管理費	式	1			第 44号表
	式	1			M0231
共通仮設費計					
純工事費計					
現場管理費 (一般交通影響あり(2))	式	1			
工事原価計					
一般管理費等 (金銭的保証を必要とする)	式	1			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
工事価格計					
消費税相当額	式	1			
請負工事費					

管据付工 鋳鉄管 φ450mm					
第 1号表					
機 械, 良 好					
金 額 10 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工	人				
普通作業員	人				
トラッククレーン オペレータ付き ラチスジブ型、油圧伸縮ジブ型4.9 t吊	日				
計					
単価	m				

管継手工 鋳鉄管 φ450mm GX形継手 直管					
第 2号表					
金 円 1 口当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工					1
	人				
普通作業員					1
	人				
諸雑費					
	%				
計					

管継手工 鋳鉄管 φ450mm GX形継手 異形管					
第 3号表					
金 円 1 口当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工					1
	人				
普通作業員					1
	人				
諸雑費					
	%				
計					

仕切弁設置工 φ450mm 機械 鋳鉄製仕切弁 縦型						第 4号表
金	円	1 基 当り	フランジ接合は含まない			
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工		人				
普通作業員		人				
トラッククレーン オペレータ付き ラチスジブ型、油圧伸縮ジブ型4.9 t吊		日				
計						

MO015 仕切弁篋設置工					
第 5号表					
金 円 1 箇所 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
仕切弁篋鉄蓋設置工 円形250、重量30kg未満規格相当	個	1			M0012 第 6号表
仕切弁篋ボックス設置工 円形250×150、重量30kg未満規格相当	個	1			M0013 第 7号表
仕切弁篋底板設置工 円形250×40、重量30kg未満規格相当	個	1			M0014 第 8号表
計					

MOO12					
仕切弁筐鉄蓋設置工 円形250、重量30kg未満規格相当					
第 6号表					
金 円 1 個 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
普通作業員					
		人			
計					

MOO13		仕切弁筐ボックス設置工 円形250×150、重量30kg未満規格相当				第 7号表	
金	円	1 個 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
普通作業員							
		人					
計							

MOO14					
仕切弁筐底板設置工 円形250×40、重量30kg未満規格相当					
第 8号表					
金 円 1 個 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
普通作業員					
		人			
計					

管継手工 鋳鉄管 φ450mm
フランジ継手 7.5K

第 9号表

管継手工 鋳鉄管 φ450mm フランジ継手 7.5K						第 9号表
金 円 1 口当り						
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
配管工					1	
	人					
普通作業員					1	
	人					
諸雑費						
	%					
計						

ポリエチレンスリーブ被覆工 φ450mm					
第 10号表					
金 円 100 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工	人				
普通作業員	人				
ポリエチレンスリーブ 水道用 φ450	袋	17.5			1
PS固定バンド 水道用 φ450	本	153.333			1
計					
単価	m				

M O O 2 3 埋設標識シート設置工 第 11号表					
金 円 100 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
埋設標識シート (ダブル) 幅 15cm 50m/巻	m	100			
埋設標識シート工	m	100			第 12号表
計					
単価	m				

埋設標識シート工

第 12号表

金 円 100 m 当り					
積 算 項 目		単位	数 量	単 価	金 額
普通作業員		人			
単価		m			

舗装版取壊し積込（バックホウ） 0cmを超え10cm以下 バックホウ 山積0.28m ³ （平積0.20m ³ ）					
第 13号表					
金 円 100 m ² 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人				
普通作業員	人				
バックホウ〔クローラ型〕 運転 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ） 排出ガス対策型（第2次基準値）	時間				第 14号表
諸雑費	式	1			
計					
単価	m ²				

バックホウ〔クローラ型〕 運転 山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 排出ガス対策型 (第2次基準値) 金 円 1 時間 当り						第 14号表
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
運転手 (特殊)	人					
軽油 パトロール給油	l					
バックホウ (クローラ型) 〔標準型・排対型 (2次基準)〕 標準バケット容量 (山積0.28/平積0.2m ³)	時間					
諸雑費	式	1				
計						

MOO53					
アスファルト塊運搬・処理 (4 t積ダンプトラック)					
セイエン商事 (株) 藤枝工場					
第 15号表					
金 円 1 m3 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
ダンプトラック運搬・4 t 積 (管路掘削工事) バックホウ 山積0.28m3 (平積0.20m3) DID区間有り, L=4.6km, As塊		m3	1		
廃材処分費 セイエン商事 (株) 藤枝工場		m3	1		
計					

ダンプトラック運搬・4 t 積 (管路掘削工事) バックホウ 山積0.28m ³ (平積0.20m ³) DID区間有り, L=4.6km, As塊 金 円 10 m ³ 当り					
第 16号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
ダンプトラック運搬 4 t 積級 タイヤ損耗費:良好	日				第 17号表
計					
単価	m ³				

ダンプトラック運転 4 t 積級 タイヤ損耗費：良好					
第 17号表					
金 円 1 日 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
運転手 (一般)	人				
軽油 パトロール給油	l				
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4 t 積級	供用日				
タイヤ損耗費 ダンプトラック 4 t 良好	供用日				
諸雑費	式	1			
計					

バックホウ掘削積込（土砂） バックホウ 山積0.28m3（平積0.20m3） 第 18号表					
金 円 100 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人				
普通作業員	人				
バックホウ〔クローラ型〕 運転 山積0.28m3（平積0.2m3） 排出ガス対策型（第2次基準値）	時間				第 14号表
諸雑費	式	1			
計					
単価	m3				

ダンプトラック運搬・4 t 積 (管路掘削工事) バックホウ 山積0.28m ³ (平積0.20m ³) D I D区間無し, L=0.1km, 土砂					
第 19号表					
金	円	10 m ³ 当り			
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
ダンプトラック運搬 4 t 積級 タイヤ損耗費:良好	日				第 17号表
計					
単価	m ³				

MOO54					
発生土運搬・処理(10t積ダンプトラック) 仮置き場から処分場まで					
第 20号表					
金 円 1 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
積込(ルーズ)	m3	1			SP 2号表
ダンプトラック運搬・10t積(管路掘削工事) バックホウ 山積0.45m3(平積0.35m3) DID区間有り, L=9.6km, 土砂	m3	1			第 21号表
残土処分費(普通土) (有)大石建材	m3	1.2			牧之原市静谷字大沢平2578番1
計					

ダンプトラック運搬・10t積 (管路掘削工事)
バックホウ 山積0.45m3 (平積0.35m3)
DID区間有り, L=9.6km, 土砂

第 21号表

金 円		100 m3 当り				
積 算 項 目		単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ダンプトラック運転 10t積級 タイヤ損耗費：良好		日				第 22号表
計						
単価		m3				

ダンプトラック運転 10t積級 タイヤ損耗費：良好					
第 22号表					
金 円 1 日 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
運転手 (一般)	人				
軽油 パトロール給油	l				
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t積級	供用日				
タイヤ損耗費 ダンプトラック 10t 良好	供用日				
諸雑費	式	1			
計					

MOO60		砂基礎工 (機械施工)				第 23号表	
金	円	100 m3 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
砂基礎工 機械施工 10m3以上		m3	100				
再生砂 (埋戻し用)		m3	133				
計							
単価		m3					

管路埋戻工（機械埋戻・バックホウ） バックホウ 山積0.28m ³ （平積0.20m ³ ） 路床材 再生盛土材					
第 24号表					
金 円 100 m ³ 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人				
普通作業員	人				
バックホウ〔クローラ型〕 運転 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ） 排出ガス対策型（第2次基準値）	時間				第 14号表
タンバ 運転 質量 60-80kg ガソリン	日				第 25号表
路床材 再生盛土材	m ³	126			
諸雑費	式	1			
計					
単価	m ³				

タンパ 運転 質量 60-80kg ガソリン 金 円 1 日 当り					
第 25号表					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員	人				
ガソリン JIS2号 レギュラースタンド	リ				
タンパ (ランマ) 賃料 質量60 - 80kg	日				
諸雑費	式	1			
計					

MO229		アルミ矢板建込・引抜き(両側分) 0.20m3級バックホウ 掘削深2.0m以下				第 26号表
金	円	100 m 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
アルミ矢板建込(両側分) 0.20m3級バックホウ 掘削深2.0m以下		m	100			T0001 第 27号表
アルミ矢板引抜き(両側分) 4.9t 吊トラッククレーン 掘削深2.0m以下		m	100			T0002 第 29号表
諸雑費		式				
計						
単価		m				

T O O O 1		アルミ矢板建込(両側分) 0. 20 m3級バックホウ 掘削深2. 0 m以下				第 27号表
金	円	100 m 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホウ〔クローラ型〕 運転 山積0. 28 m3 (平積0. 2 m3) 排出ガス対策型 (第2次基準値)		時間				第 28号表
諸雑費		式				
計						
単価		m				

バックホウ〔クローラ型〕 運転 山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 排出ガス対策型 (第2次基準値) 金 円 1 時間 当り					
積 算 項 目		単位	数 量	単 価	金 額
運転手 (特殊)		人			
軽油 パトロール給油		l			
バックホウ (クローラ型) 〔標準型・排対型 (2次基準)〕 標準バケット容量 (山積0.28/平積0.2m ³)		時間			
諸雑費		式	1		
計					

T O O O 2		アルミ矢板引抜(両側分) 4.9t吊トラッククレーン 掘削深 2.0m以下				第 29号表
金	円	100 m 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラッククレーン オペレータ付き ラチスジブ型、油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊		日				賃料 第 30号表
諸雑費		式				
計						
単価		m				

トラッククレーン オペレータ付き ラチスジブ型、油圧伸縮ジブ型4.9t吊					
第 30号表					
金 円 1 日 当り 賃料					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
トラッククレーン オペレータ付き ラチスジブ型、油圧伸縮ジブ型4.9t吊	日				
計					

MOO57					
アルミ矢板 賃料 補助					
第 31号表					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
アルミ矢板賃料 H=2.0m		日・枚	768		
アルミ矢板基本料 H=2.0m		枚	64		
計					

MOO59					
支保工賃料 補助					
第 32号表					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
アルミ製腹起し材質料 80×115×4000	日・本	72			
アルミ製腹起し材基本料 80×115×4000	本	6			
水圧サポート賃料 590-900	本・日	72			
水圧サポート基本料 590-900	本	6			
水圧手動ポンプ賃料	日・台	12			
水圧手動ポンプ基本料	台	1			
計					

軽量金属製支保設置撤去工 1段 2.0m以下 水圧式パイプサポート					
第 33号表					
金 円 100 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人				
特殊作業員	人				
普通作業員	人				
諸雑費	式	1			
計					
単価	m				

ポンプ据付・撤去工
φ50mm

第 34号表

ポンプ据付・撤去工
φ50mm

第 34号表

金	円	1 現場 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員		人				
計						

金 円 1 日 当 り 潜水ポンプ運転 φ50mm 1台 作業時排水, 発動発電機 第 35号表					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員					1
	人				
普通作業員					1
	人				
工事用水中モータポンプ〔普通型（潜水ポンプ）〕 口径φ50mm全揚程5m					1
	時、日				
発動発電機〔ガソリンエンジン駆動〕 定格容量3kVA					1
	時、日				
諸雑費					
	%				
計					

M O 2 2 4		アスファルトカッター汚泥運搬・処理 マーセリサイクル（株）麻機工場			第 36号表	
金	円	1 式 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
トラック運搬（D I D区間あり） 運搬距離：30.0 km以下		台	1			第 37号表
アスファルトカッター汚泥処分費 マーセリサイクル（株）麻機工場 静岡市葵区北字柳沢2242-129		m3	0.26			0.09+0.17=0.26
計						

トラック運搬 (DID区間あり)
運搬距離: 30.0 km以下

第 37号表

金 円 1 台 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
トラック運搬 2 t 積	時間				第 38号表
諸 雑 費	式	1			
計					

トラック運転 2t積						第 38号表
金 円 1 時間 当り						
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
運転手 (一般)		人				
軽油 パトロール給油		l				
トラック [普通型] 2t積		時間				
諸雑費		式	1			
計						

上層路盤工
仕上り厚さ=15cm 施工幅=1.8m未満 粒度調整碎石 (M-30)

第 39号表

金 円 100 m2 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員	人				
粒調碎石 M-30 30-0mm	m3	19.05			
タンバ 運転 質量 60-80kg ガソリン	日				第 40号表
諸雑費	式	1			
計					
単価	m2				

<div> <div>金</div> <div>円</div> <div>1 日 当り</div> <div>タンパ 運転 質量 60-80kg ガソリン</div> <div>第 40号表</div> </div>					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員	人				
ガソリン JIS2号 レギュラースタンド	リ				
タンパ (ランマ) 賃料 質量60 - 80kg	日				
諸雑費	式	1			
計					

不陸整正工
施工幅=1.8m未満 補足材:有り 平均厚さ30mm

第 41号表

金 円 100 m2 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員	人				
粒調碎石 M-30 30-0mm	m3	3.81			
タンバ 運転 質量 60-80kg ガソリン	日				第 40号表
諸雑費	式	1			
計					
単価	m2				

区画線設置〔熔融式手動〕 矢印・記号・文字 15cm換算 塗布厚1.5mm 黄 鉛・クロムフリー					
第 42号表					
金 円 1000 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
区画線工（区画線設置工〔熔融式（手動）〕） 昼間単価 供用区間 矢印・記号・文字 15cm換算 時間的制約 無 機・労	m	1,000			1 標準単価（基本額）〔合計金額対象外〕
〔補正係数：週休2日補正〕	X				
補正後標準単価	m	1,000			
路面表示用塗料 3種1号 JIS K 5665 熔融 鉛・クロムフリー ガラスビーズ含有量15-18% 黄 比重2.0	k g	570			2
道路用塗料 ガラスビーズ JIS R3301 0.106-0.850mm	k g	25			2
接着用プライマー 区画線用 色 - 比重0.9	k g	25			2
軽油 パトロール給油	l	100			2
諸雑費	%				

第 42号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
計 (合計金額対象外は除く)					
単価	m				

交通誘導警備員

第 43号表

金 円 1 式 当り					
積 算 項 目		単位	数 量	単 価	金 額
交通誘導警備員B					
		人	16		8日、2人
計					

1, #等:諸經費等対象額

仮設材等の運搬費（片道） 12m以内 L=2km, G=0.713t						第 45号表	
金	円	1 式 当り					
積 算 項 目			単位	数量	単 価	金 額	摘 要
仮設材等の運搬費（片道） 12m以内			式	1			
計							

仮設材等の積み込み・取卸し費

第 46号表

現場搬入質量=0.713t, 現場搬出質量=0.713t

金 円 1 式 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
基地積み込み、現場取卸し費	t	0.713			
現場積み込み、基地取卸し費	t	0.713			
計					

MO231					
技術管理費					
第 47号表					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
補助通水試験					M0200
	式	1			第 48号表
六価クロム溶出試験 環境庁告示46号溶出試験					M0202
	式	1			第 50号表
計					

MO200補助通水試験					
第 48号表					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
通水試験工 φ800mm以下 既設管と連絡あり	m	73.4			第 49号表
計					

通水試験工 φ800mm以下 既設管と連絡あり						第 49号表
金 円 500 m 当り						
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工						1
		人				
普通作業員						1
		人				
器具損料及び諸雑費						
		%				
計						
単価						
		m				

M O 2 0 2		六価クロム溶出試験 環境庁告示4 6号溶出試験		第 5 0号表		
金	円	1 式 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
六価クロム溶出試験 環境庁告示4 6号溶出試験		件	1			
計						

施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
舗装版切断	舗装版種別＝アスファルト舗装版，アスファルト舗装版厚＝15cm以下	SP 1号表
積込（ルーズ）	土質＝土砂，作業内容＝土量50，000m ³ 未満 ＊土砂の種類＝土砂（砂・砂質土）	SP 2号表
表層（車道・路肩部）	平均幅員＝1.4m未満（1層当り平均仕上り厚50mm以下），材料＝密粒度アスコン 選択，瀝青材料種類＝無し &アスコン規格＝再生密粒度アスコン（13） A配合，＊1層当り平均仕上り厚＝40mm	SP 3号表
表層（車道・路肩部）	平均幅員＝1.4m以上3.0m以下，材料＝密粒度アスコン 選択，瀝青材料種類＝プライムコート 選択 &アスコン規格＝再生密粒度アスコン（13） A配合，＊1層当り平均仕上り厚＝50mm，&瀝青材料規格＝プライムコート PK-3	SP 4号表

[illegible]

名 称	規格・寸法	計 算 表			計	単 位	数 量	
補助管布設								
【DIP(GX)φ450管布設工】								
鋳鉄管布設工	φ450 吊り込み据付工(機械)	72.930			72.930	m	72.9	
GX継手工	φ450 直管	直管	12		12	口	12	
GX継手工	φ450 異形管		1		1	口	1	
【仕切弁設置工】								
仕切弁設置工	φ450		1		1	基	1	
フランジ継手工	φ450		2		2	口	2	
仕切弁筐設置工			1		1	箇所	1	
【管被覆工】								
ポリエチレンスリーブ被覆工	φ450材工	72.930			72.930	m	72.9	
埋設標識シート	材工	73.430			73.430	m	73.4	
【その他】								
通水試験工		73.430			73.430	m	73.4	
交通整理人		管路土工	7 × 2	= 14				
		舗装	1 × 2 人	= 2		人	16	
区画線工	黄・クロムフリー	23.2			23.2	m	23	

補助

名称	計算式			摘要	設計数量
舗装版切断 昼間	t=5cm	(73.430 + 1.050) × 2 = 148.96 m			
		計 148.96 m	148.96	150 m	
舗装切断 産業廃棄物 昼間	t=5cm	0.023 × 0.05 × 148.96 = 0.17 m3			
		計 0.17 m3	0.17	0.17 m3	
舗装版直接掘削 0～10cm以下 昼間	t=5cm	77.102 = 77.10 m2			
		計 77.10 m2	77.10	77 m2	
AS殻運搬	t=5cm	77.102 × 0.05 = 3.86 m3			
		計 3.86 m3	3.86	4 m3	
バックホウ床堀		133.077 = 133.08 m3			
		計 133.08 m3	133.08	130 m3	
仮置き場へ運搬 (泉町配水場)		133.077 = 133.08 m3			
		計 133.08 m3	133.08	130 m3	
発生土運搬・処理		133.077 = 133.08 m3			
		計 133.08 m3	133.08	130 m3	

補助

名称	計算式				摘要	設計数量
管路埋戻し (砂)	42.916 = 42.92 m3					
	計 42.92 m3				42.92	40 m3
管路埋戻し (碎石) 昼間	77.872 = 77.87 m3					
	計 77.87 m3				77.87	80 m3
仮舗装 (AS13、t=40mm) 昼間	1.4m未満 77.102 = 77.10 m2				77.10	77 m2
	計 77.100 m2					
本舗装 舗装版切断 昼間	t=5cm 73.430 + 1.825 + 1.825 = 77.08 m					
	計 77.08 m				77.08	77 m
本舗装 舗装切断 産業廃棄物 昼間	t=5cm 0.023 × 0.05 × 77.08 = 0.089 m3					
	計 0.089 m3				0.089	0.09 m3
本舗装 舗装版直接掘削 0～10cm以下 昼間	(仮舗装)					
	t=5cm	N4	134.010	- 77.102	= 56.91 m2	
	t=4cm	仮舗装取り壊し	77.102		= 77.102 m2	
	計 134.01 m2				134.01	134 m2
AS殻運搬 昼間	t=5cm	N4	56.91	× 0.05	= 2.85 m3	
	t=4cm	仮舗装取り壊し	77.10	× 0.04	= 3.08 m3	
	計 5.93 m3				5.93	6 m3

補助

名称	計算式			摘要	設計数量
バックホウ床堀 昼間	18.945	=	18.95 m3		
		計	18.95 m3	18.95	20 m3
仮置き場へ運搬 (泉町配水場)	18.945	=	18.95 m3		
		計	18.95 m3	18.95	20 m3
発生土運搬 昼間	18.945	=	18.95 m3		
		計	18.95 m3	18.95	20 m3
上層路盤工 (M-30、t=15cm)	121.157	=	121.16 m3		
		計	121.16 m2	121.16	121 m2
不陸整正工	134.010 - 121.157	=	12.85 m2		
		計	12.85 m2	12.85	13 m2
表層 N4 (再生密粒度AS13、t=5cm) 1.4m以上3.0m以下	134.010	=	134.01 m2		
		計	134.01 m2	134.01	134 m2

補助土工 測点	適用1	適用2	適用3	距離 (m)	土被り (m)	管外径 (m)	既設舗装厚 (m)	上砂厚 (m)	下砂厚 (m)	仮舗装厚 (m)	W 掘削幅 (m)	W 平均掘削幅 (m)	H2 掘削深 (m)	H2 平均掘削 (m)	矢板 達込・引抜 (m)	水圧式 ・(7'4"→) (m)	矢板工 (m)	H1 掘削工 (m)	H1 平均掘削工 (m)	h1 平均砂埋戻厚 (m)	h2 平均砕石埋戻厚 (m)	h3 平均路盤埋戻厚 (m)	既設舗装 取壊し (m2)	仮舗装工 (m2)	既設構造物 深さ (m)	既設構造物 体積 (m3)	管路 掘削土量 (m3)	管路 砂埋戻 (m3)	管路 砕石埋戻 (m3)	
No 3 + 11.322	単独埋設	N4	昼間		1.200	0.476	0.050	0.150	0.100	0.040	1.050		1.776					1.726												
No 4	単独埋設	N4	昼間	28.678	1.200	0.476	0.050	0.150	0.100	0.040	1.050	1.050	1.776	1.776	掘削2.0m以下	0.59～0.90m	2.000	1.726	1.726	0.726	1.010			30.112	30.112			51.973	16.761	30.413
No 4	単独埋設	N4	昼間		1.200	0.476	0.050	0.150	0.100	0.040	1.050		1.776					1.726												
No 5	単独埋設	N4	昼間	40.000	1.200	0.476	0.050	0.150	0.100	0.040	1.050	1.050	1.776	1.776	掘削2.0m以下	0.59～0.90m	2.000	1.726	1.726	0.726	1.010			42.000	42.000			72.492	23.378	42.420
No 5	単独埋設	N4	昼間		1.200	0.476	0.050	0.150	0.100	0.040	1.050		1.776					1.726												
No 5 + 4.752	単独埋設	N4	昼間	4.752	1.200	0.476	0.050	0.150	0.100	0.040	1.050	1.050	1.776	1.776	掘削2.0m以下	0.59～0.90m	2.000	1.726	1.726	0.726	1.010			4.990	4.990			8.612	2.777	5.039
同時埋設N4昼間延長	同時埋設	N4	昼間																											
同時埋設N5昼間延長	同時埋設	N5	昼間																											
単独埋設N4昼間延長	単独埋設	N4	昼間	73.430																										
単独埋設N5昼間延長	単独埋設	N5	昼間																											
昼間 片側軽量金属支保工設置・撤去1段掘削深さ2.0m以下															73.430															
合計			全体	73.430																			77.102	77.102			133.077	42.916	77.872	

アルミ矢板損料・運搬計算

工事名 : 令和6年度(補)泉町地内配水本管(西部幹線)布設替工事

全体
矢板・支保工
総重量 0.713 t

区間 矢板長2.0m区間(両側)

施工延長	L= 73.43 m	日進量	L= 12 m/日	
矢板長さ	L= 2 m	矢板幅	W= 0.33 m/枚	矢板単位重量 W= 0.0056 kg/m
支保工	N= 1 段	両側・片側	2 (両側:2、片側:1)	
換算施工日数	延長 日進量 D= 73.43 ÷ 12 = 7 日		使用日数	73 ÷ 10.5 × 1.7 = 12 日
	延長 施工日数 L= 73.43 ÷ 7 = 10.5 m			
換算日進量				
矢板運搬重量	延長	矢板幅	矢板長さ	矢板単位重量
	W= 10.5 ÷ 0.33	× 2.0	× 0.006	× 2 = 0.713 t
矢板枚数	N= 10.5 ÷ 0.33	× 2 = 64 枚		
100m当り換算計算 日進量(供用) 100 × 1.7 ÷ 10.5 = 17 日				
腹起材(H-115×80×4000)				
	日進量	腹起長さ(m/本)	両側・片側	段数
N=	10.5 ÷ 4	× 2	× 1	= 6 本
	日数	本数		
賃料(日×本数) t=	12 × 6	= 72 日・本		
切梁材(水圧サポート)				
	腹起本数	単位本数	両側矢板	
N=	6 × 2	÷ 2	= 6 本	
	日数	本数		
賃料(日×本数) t=	12 × 6	= 72 日・本		

※不稼働係数:1.7

[illegible]

藤枝市週休２日工事（土木工事）特記仕様書

（目的）

第１条 本特記仕様書は、公共工事の品質確保並びにその担い手の中長期的な育成及び確保が重要な課題となっていることに鑑み、建設現場における休日確保型工事の実施に伴い必要となる経費を適切に計上することにより、週休２日の取得が可能な環境づくりを推進し、その労働環境の改善を目的とする。

（用語の定義）

第２条 この要領において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 対象期間 工事着手日（準備期間を除く。）から工事完成日（後片付け期間を除く。）までの期間のことをいう。ただし、年末年始休暇（６日間）、夏季休暇（３日間）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている期間は含まない。
- (2) 休工日 対象期間において、現場事務所での事務作業を含め１日を通して現場や現場事務所が閉所された日（巡回パトロール・保守点検等、現場管理上必要な作業のみを行う場合は休工日に含む。）をいう。
- (3) 現場閉所率 対象期間における休工日の割合（休工日数／対象期間日数）を百分率で表示したものをいう。
- (4) 月単位の週休２日 対象期間の全ての月において、週休２日の状態をいう。
ただし、土曜日、日曜日の日数の割合が２８．５％に満たない月においては、当該月の土曜日、日曜日の合計日数以上の現場閉所を行っている状態をいう。
- (5) 通期の週休２日 対象期間の現場閉所率が２８．５％以上の状態をいう。

（費用の計上）

第３条 週休２日工事の費用計上は、対象期間中の現場の閉所状況に応じ、静岡県が定める「週休２日推進工事積算要領」の規定に準じ、補正係数を乗じて行うものとする。

（実施方法）

第４条 週休２日工事の実施方法は、次のとおりとする。

- (1) 受注者は、現場着手日までに４週８休以上の休工日取得計画表を監督員に提出しこれに基づき施工を行う。
- (2) 受注者は、計画に変更が生じた場合には、その都度、変更した休工日取得計画表を監督員に提出する。
- (3) 監督員は、受注者に工事記録簿等の資料の提出を求め、休工日及び現場閉所率について確認を行う。なお、４週８休以上の休工日が確保できなかった場合には、静岡県週休２日推進工事（土木工事）実施要領の規定に準じ、現場閉所率に応じた費用計上

による減額変更契約を行うものとする。

(工期設定の条件)

第5条 設定された工期に見込まれている特記事項は、次のとおりとする。

- (1) 雨休率 休日と降雨降雪及び猛暑日数の年間の発生率をいう。この場合において、休日は、日曜日及び土曜日、祝日、年末年始休暇（6日）並びに夏季休暇（3日）とし、降雨降雪及び猛暑日数は地域ごとに算出が困難なため、「0.9」とする。

ただし、猛暑期間（6月～9月）外の工事については、猛暑日を考慮しない雨休率「0.8」とする。

- (2) 工事の性格 () 日
(3) 地域の事情 () 日
(4) 自然条件 () 日
(5) その他 () 日

交通誘導警備員の配置に関する特記仕様書

(交通誘導警備員の設計計上数量)

第1条 本工事の施工に際しては、設計書に計上した交通誘導警備員の人員を配置する。なお、配置場所等については、監督員と協議するものとする。

(安全対策)

第2条 受注者は、工事の施工に当たって交通整理等を行うときは、公共工事の円滑な執行に資することを理解し、事故のないよう適正に工事を実施しなければならない。

2 受注者は、工事の施工にあたって、交通整理等を行うときは、配置人員、配置位置及び配置期間等について、監督員と協議を行わなければならない。また、計画に変更が生じた場合も同様とする。

3 受注者は、工事の施工にあたって交通整理等を行った場合、工事完了時に実施内容の判る写真、交通誘導警備員勤務実績表を併せて提出しなければならない。

(その他)

第3条 交通誘導警備員は、原則、警備業法（昭和47年法律第117号一部改正平成16年法律第50号）第4条による認定を受けた警備業者の警備員を配置するものとする。

2 現場代理人は、交通誘導警備員について、住民等から意見があった場合は、速やかに監督員へ報告し、協議を行うものとする。

3 現場代理人は、交通誘導警備員の点呼を取り、交通誘導警備員の健康状態や交通整理状況を常時把握し、異常のあるときは速やかに警備会社へ連絡し、交替を要請するとともに、交替要員が現場に到着するまでの間、交通誘導を要する現場作業は控えるものとする。

4 現場代理人は、施工区域内において、複数の他工事が重複する場合は、事故の未然防止及び安全対策に万全を期するとともに、他工事との調整等を図るなかで、交通誘導警備員を適正に配置するものとする。

障害者差別解消法等に基づく差別的取扱いの禁止及び合理的配慮の提供についての留意事項に関する特記事項

（受注者の責務）

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成 25 年法律第 65 号）第 10 条第 1 項の規定に基づく「藤枝市における障害を理由とする差別を解消するための職員対応要領」（平成 28 年 3 月 11 日藤枝市長決定）第 2 条に規定する不当な差別的取扱いの禁止及び第 3 条に規定する合理的配慮の提供について留意すること。

工事写真の電子データに関する特記仕様書

第1条（工事写真の提出）

当該工事（以下「本工事」という。）の工事写真を電子データの対象とするか否か、受注時に発注者、受注者協議の上、選択できるものとする。対象とした場合に必要な事項を以下のとおり定める。

第2条（工事写真）

工事写真は「写真管理基準」により撮影したものを指す。

第3条（電子データの作成）

電子データは、国土交通省版の「デジタル写真管理情報基準」に基づいて作成するものとする。

第4条（提出方法）

納品は要領に基づいて作成した電子データを電子媒体（CD-R）で2部提出する。

なお、納品の際には事前にエラーチェックを行い、エラーが無いことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで納品するものとする。

第5条（定めなき事項）

本仕様書および共通仕様書に定めのない事項や疑義が生じた場合は、必要に応じ監督員と協議するものとする。

情報共有システム（ASP）の活用に関する特記仕様書

第1条（情報共有システムの活用）

本工事は、発注者及び受注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システム(ASP)の対象工事である。実施にあたっては「藤枝市における情報共有システム活用要領」及び「藤枝市における情報共有システム活用の手引き」に基づき実施する。受注者は、情報共有システムの利用の有無を発注者と協議し決定する。利用する場合に必要な事項を以下のとおり定める。

第2条（システムの選定）

受注者は、本工事で使用する情報共有システムを選定し、発注者と協議し承諾を得なければならない。利用する情報共有システムは次の要件を満たすものとする。

- ・「土木工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 （最新版）

（国土交通省）

- ・「建築・建築設備工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 営繕工事編 （最新版）

（国土交通省大臣官房官庁営繕部 整備課施設評価室）

第3条（利用契約）

発注者及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者との契約は、受注者が行うものとする。また、利用開始日、必要なユーザーID数やワークフロー機能の対象者等については、「事前協議チェックシート」に基づき、担当監督員と協議するものとする。

第4条（費用負担）

情報共有システムを利用する発注者及び受注者の費用は、情報共有システムへの登録料及び使用料であり、設計図書における経費のうち、共通仮設費の率分（技術管理費）に含まれるものとし、受注者の負担とする。

遠隔臨場の試行に関する特記仕様書

本工事（業務）は、遠隔臨場の試行の対象であり、受発注者間の調整により、遠隔臨場を実施することができる。

（定義）

第1条 遠隔臨場とは、建設現場において、モバイル端末等による映像と音声の双方向通信を用いた立会・段階確認及び検査のことをいう。

（適用）

第2条 遠隔臨場は、受注者がモバイル端末等で撮影した映像と音声を監督員又は検査員等にリアルタイム配信を行い、双方向通信により相互に確認を行うことにより、必要とする情報の入手が可能と監督員又は検査員が判断した場合に限り、臨場又は実地に替えることができるものとする。

（実施方法）

第3条 受注者は、遠隔臨場を行う場合、以下の作業を実施する。

（1）事前調整

受注者は、監督員と遠隔臨場の実施日時、適用（確認する項目・内容）、仕様（使用する機器・アプリケーションまたはサービス）、その他必要な事項について調整する。なお、電話、メール等での調整を可とする。

（2）実施記録

受注者は、遠隔臨場が行われた証拠として、通信履歴の画面キャプチャ（写真）、通話中の監督員又は検査員の映像を含む写真等のいずれかの記録を行うものとする。

遠隔臨場が行われた内容の記録は、監督員又は検査員の臨場又は実地に替えて黒板に遠隔臨場であることを明記した写真により行うものとする。

（実施手続）

第4条 遠隔臨場は、以下の手順により実施する。

（1）事前調整

受注者は、遠隔臨場の実施について、監督員と事前調整する。

（2）立会・段階確認、検査の申請

受注者は、遠隔臨場を実施する場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認項目欄又は検査依頼書の検査の種類欄に遠隔臨場であることを明記する。実施日時等の取扱いは、臨場の場合と同様とする。

ただし、監督員又は検査員が臨場の必要があると判断した場合は、遠隔臨場による申請を行った場合においても、臨場により実施するものとする。

（3）立会・段階確認、検査の実施

受注者は、実施予定日時に、監督員又は検査員に対して通信を開始して実施する。

ただし、監督員又は検査員が必要とする情報が得られないと判断した場合は、遠隔臨場を中止し、通常の臨場による確認を実施するものとする。

（4）立会・段階確認、検査の確認

受注者は、遠隔臨場による立会・段階確認を実施した場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認書に、実施記録を添付し監督員に提出するものとし、遠隔臨場による検査を実施した場合は、検査終了後速やかに実施記録を監督員経由で検査員に提出するものとする。

(機材等の手配・仕様)

第5条 受注者は、以下の項目により遠隔臨場に必要な機器等を準備するものとする。

- (1) 受注者は、現場で必要となるモバイル端末及び通信回線等の準備を行う。
- (2) 発注者は、発注者が保有するインターネット通信が可能なタブレット端末等を利用する。
- (3) 利用するアプリケーションまたはサービスは、発注者が保有するタブレット端末等で利用が可能であり、かつ、発注者の利用に際して新たな費用負担が生じないものを受注者が選定する。

(費用)

第6条 受注者が行う機材等の手配に要する経費は、共通仮設費（業務の場合は諸経費）の率分に含まれるものとし、別途計上しない。

(調査への協力)

第7条 受注者は、遠隔臨場を実施した場合、有効性や効果、課題等について把握するためのアンケート調査等に協力する。

個人情報取扱特記仕様書

1 基本的事項

受注者は、個人情報の保護の重要性を認識し、この契約による事務の実施に当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報を適切に取り扱わなければならない。

2 秘密の保持

受注者は、この契約による事務に関して知ることができた個人情報をみだりに他人に知らせてはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

3 収集の制限

- (1) 受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を収集するときは、事務の目的を明確にするとともに、事務の目的を達成するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により行わなければならない。
- (2) 受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を収集するときは、本人から収集し、本人以外から収集するときは、本人の同意を得た上で収集しなければならない。

4 利用及び提供の制限

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報を契約の目的以外の目的のために利用し、又は第三者に提供してはならない。

5 適正管理

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報の漏えい、滅失及びき損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じなければならない。

6 複写又は複製の禁止

受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から引き渡された個人情報が記録された資料等を、複写し、又は複製してはならない。

7 再委託の禁止

受注者は、この契約による事務を行うための個人情報の処理は、自ら行うものとし、発注者が承諾した場合を除き、第三者にその処理を委託してはならない。

8 資料等の返済等

受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から引き渡され、又は受注者自らが収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等は、事務完了後直ちに発注者に返還し、又は引き渡すものとする。ただし、発注者が別に指示したときは、その指示に従うものとする。

9 従事者への周知

受注者は、この契約による事務に従事している者に対して、在職中及び退職後において、その事務に関して知り得た個人情報を他に漏らしてはならないこと及び契約の目的以外の目的に使用してはならないことなど、個人情報の保護に関し必要な事項を周知するものとする。

10 実地調査

発注者は、必要があると認めるときは、受注者がこの契約による事務の執行に当たり取扱っている個人情報の状況について、随時実地に調査することができる。

11 事故報告

受注者は、この契約に違反する事態が生じ、又は生じるおそれのあることを知ったときは、速やかに発注者に報告し、発注者の指示に従うものとする。

地下埋設物調査書

(令和6年度(補) 泉町地内配水本管(西部幹線)布設替工事)

埋設物	埋設状況			管理者	
	縦方向	横方向	特殊箇所	市	管理側
水道管	なし	D(A)φ350 Vφ100	なし		上水道課
ガス管	φ30 ポリエチレン管	φ50 ポリエチレン管	なし		東海ガス
大井川広域水道企業団	施設管理図により無いことを確認した。				
大井川土地改良区	施設管理図により無いことを確認した。				
N T T ケーブル	地下埋設物照会により無いことを確認した。				NDS(株)
中部電力ケーブル	地下埋設物照会により無いことを確認した。				中部電力 パワーグリッド(株)
下水道管	なし	なし	なし		下水道課

